



平成23年5月19日

各位

会社名 明治ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 尚忠  
(コード: 2269 東証第1部)  
問合せ先 IR広報部長 梅本 隆司  
TEL: 03(3273)3917

### 株式会社 明治 関連会社 CP-MEIJ I における 5ヵ年計画策定とそれに基づく生産体制整備の実施決定に関するお知らせ

当社は、昨年9月に発表したグループ全体の経営指針「明治グループ2020ビジョン」における海外食品事業強化の方針に則り、事業子会社である株式会社 明治の関連会社で、タイ国にて牛乳・ヨーグルトなどを生産、販売しているCP-MEIJ Iが、事業規模の倍増を企図した5ヵ年計画(2011年~2015年)の策定とそれに基づく生産体制整備の実施を決定したことをお知らせ致します。

#### 記

##### 1. CP-MEIJ I に関して

同社は、1989年、当社の事業子会社である株式会社 明治(当時、明治乳業)が、タイ国有数の企業グループCPグループとの共同出資により、同国で牛乳・ヨーグルトなどの生産、販売を行う会社として設立されました。

以来、明治乳業(当時)の技術を注ぎ込んだ製造ラインと品質管理体制をもって、安全でおいしいチルド牛乳やヨーグルトなどを生産、販売し、着実に市場に浸透していきました。

現在、CP-MEIJ Iはタイ国チルド牛乳市場の約5割のシェアを占めるトップブランドとなり、また輸出先であるシンガポールの牛乳・ヨーグルト市場においてもトップブランドとなっております。

##### 2. 5ヵ年計画の目的と概要

●CP-MEIJ I 5ヵ年計画 売上目標		
【 2010年(現在) 】	⇒	【 2015年 】
97億円		200億円
※1パーツ=2.7円換算		

今般、当社グループの海外食品事業強化の方針を背景とし、牛乳・ヨーグルト市場の成長性が高く、健康や食の新鮮さ、おいしさなどへの意識が高まっているタイ国において、牛乳・ヨーグルトを生産、販売しているCP-MEIJ Iが事業規模の倍増(現在のほぼ2倍の200億円)を企図し、積極的な販売活動の展開とそれに対応する生産体制の整備を実施致します。具体的には、既存の工場設備の改善、老朽化対応に加え、同工場の敷地に新しい製造棟を建設し、チルド牛乳や乳酸菌飲料、ヨーグルトなどの品質の一層の向上を図るとともに大幅な増産体制を構築します。

とりわけ、ヨーグルトに関しては、国内で培った技術やノウハウを生かし、健康価値や爽やかなおいしさを訴求した商品などを展開します。こうした取り組みを通じ、明治ブランドの価値を高め、新しい市場の創造に努めていくとともに、当該事業を東南アジアにおける食品事業の柱として育成して参ります。

### 3. 投資概要

#### ●投資規模

2011年から2015年の5年間で約50億円（※1）

（※1） 投資資金はCP・MEIJ Iの自己資金及び自己調達

#### ●投資内容

①既存の工場敷地に新製造棟（※2）及び付帯設備を増設

（※2） ・延べ床面積は、現製造棟とほぼ同規模（約1万㎡）

・ヨーグルト、乳酸菌飲料などの製造

・新製造棟の建設着工は2011年の夏頃、製造は2013年の春頃  
からを予定

②現製造棟及び生産設備の改善、老朽化対応投資

①、②の投資（5ヵ年計画）完了後は、年間生産量を約20万k lと想定  
（現在の約2倍）

以上